

計画の名称	篠山市鳥獣被害防止計画
対象鳥獣 計画期間 対象地域	ニホンジカ、ニホンザル、イノシシ、 アライグマ 平成20～22年度 兵庫県篠山市

地域の位置



被害の概要

- ・ ニホンジカ
最近の4, 5年の間の生息数・生息域の拡大に伴い被害が深刻化
- ・ ニホンザル
4群約150頭が確認されており、農作物被害のほか家屋侵入などの生活環境被害が局所的に深刻化
- ・ アライグマ
十数年の間の生息域の急速な拡大に伴い、農作物被害及び家屋侵入などの生活環境被害も拡大

被害額等の現状値と主な被害軽減目標

	現状値 (平成19年)	目標値 (平成22年)
水稻等の被害額	408万円 (2.4ha)	200万円 (1.2ha)

被害防止策の課題

- ・ 狩猟者の高齢化等による、捕獲の担い手不足
- ・ 出没獣類に対応した防護柵の整備、設置済み防護柵の維持管理
- ・ 追い上げ・追い払い活動、放任果樹の除去等への地域住民への周知徹底

今後の取組方針

- ・ 関係機関による総合的多面的支援体制の下、被害対策に取り組むモデル集落に対して、技術支援や体制整備の支援を重点的に行いつつ、地域住民による主体的な取組を促進

具体的な取組の概要

- ・ 鳥獣種別駆除班の編成による捕獲の推進、捕獲従事者の育成、捕獲個体の有効利用の検討
- ・ 生息・被害状況の情報収集、追い払い体制の整備、侵入防止柵整備の推進
- ・ 生息動向や意識・被害状況の把握、研修会の開催
- ・ 接近警報システム、モンキードッグ等の活用による追い払い体制の構築
- ・ 獣種に適した侵入防止柵の整備 (20年度: 14.8km、21年度: 19.5km、22年度: 38.6km)

主な被害防止対策の実施体制

篠山市有害鳥獣対策推進協議会 (構成員: 市、丹波ささやま農協、猟友会、自治会会長会、野生鳥獣被害防止施設設置等連絡協議会)

鳥獣害防止総合対策事業による取組推進 (平成20年度)

- ・ 連絡協議会の開催
- ・ 狩猟免許の取得
- ・ ワナ購入
- ・ 侵入防止柵の実証設置
- ・ 研修会の開催
- ・ パンフレット作成
- ・ サル接近警報システム活用